

糖尿病と歯周病に係る医科歯科連携について

(一社) 埼玉県歯科医師会

歯周病は、糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害、動脈硬化性疾患、糖尿病足病変、手の病変、認知症などとともに糖尿病の慢性合併症のひとつであることから、埼玉県歯科医師会では医科歯科連携の推進を目的として診療情報を共有するためのカードを作成しました。

■ 糖尿病診療ガイドライン 2016 (日本糖尿病学会編集)

Q13-2 糖尿病は歯周病の発症や進行に影響を及ぼすか？

2型糖尿病患者ではHbA1c 6.5%以上になると、歯周炎の発症や、歯槽骨吸収の進行のリスクが高まる。

CQ13-3 糖尿病治療は歯周病の改善に有効か？

糖尿病治療により歯周組織の炎症は改善することがある。

推奨グレード B

Q13-4 歯周病は血糖のコントロールに影響するか？

・歯周病は、慢性炎症として血糖コントロールに悪影響を及ぼすことが疫学的に示されている。

・歯周炎の重症度が高いほど血糖コントロールが困難になる。

CQ13-5 歯周治療は血糖コントロールの改善に有効か？

2型糖尿病では歯周治療により血糖が改善する可能性があり、推奨される。

推奨グレード B

歯科医療機関→医療機関

年 月 日

病院・医院 歯科医療機関名

住所

先生御侍史 ☎

よろしく申し上げます。

歯科医師名

患者氏名

年 月 日生 男・女

歯科治療の経過と現症

初診： 年 月

歯周病治療開始： 年 月

経過：

定期健診の状況： 受診している（ 年・月ごと） 受診していない

咀嚼状況： 噛める ほぼ噛める 噛みにくい 噛めない

痛み： なし ややある ある かなりある

外科的治療予定の詳細

内容： 抜歯 歯周外科手術

その他（ ）

手術日時：

予定時間：

侵襲の程度：

使用局所麻酔薬（添加血管収縮剤）：

治療前後の禁食時間：

投与薬剤：

情報提供依頼内容

使用経口血糖降下薬の有無と 有る場合は薬名

HbA1c値と測定日時

出血傾向の有無

インスリン投与の有無及び投与量

合併症の有無 心筋梗塞、脳梗塞、腎症、網膜症、壊疽 その他

低血糖症の既往歴

その他（ ）

備考

2015年1月 埼玉県医科歯科連携推進会議 糖尿病連携作業部会作成